

井尻交流センター作戦名 「井尻川遊びを盛りあげ隊！！」

問題

地域のイベントがあるが、いつも同じメンバーで盛り上げりに欠ける。

- ・イベントをいろんな人に知ってもらうためにチラシを手作りする。
- ・イベントに来てくれた方におもてなしをして次回も来てもらう。

◆実施日・場所

7月21日（日）・井尻交流センター裏

◆参加校

井尻小学校

◆参加人数

7名

◆活動内容

子ども達に川遊びを盛り上げてもらう予定でしたが、当日悪天候の為、川遊びで使用する予定だったうなぎの放流を行いました。



※後日、荒島地区との合同川遊びが開催され、そちらにも参加させていただきました。

この度は安来青年会議所さんの事業に参加させていただき、ありがとうございます。残念ながら台風の影響で、鰻の放流だけでしたが、青年会議所の皆さんと交流でき、楽しかったです。今後も地域の子も達がどじょっこ少年団のような事業に参加する事で地域との繋がりを深め、周りの人を支える存在になって欲しいと思います。来年度もよろしくお願ひいたします。

宿酔会 会長 門脇和弘

子どもたちとの活動を通して、子どもたちの視点はどうしても自分たちの楽しみや遊ぶことに向いてしまいますが、周りの大人が道標となることでまちづくりに興味を持ち、豊かな発想で精力的な活動ができることを実感しました。子どもたちと一緒に活動を進める中で我々も地域のいろいろな場所へ行き、いろいろな方々との交流を深める機会となりました。今回の事業でも大変多くの方々にご協力頂きましたことを改めてお礼申し上げます。

次代青少年育成委員会 委員長 伊東寛太

十神交流センター作戦名 「安来の今と昔 ～やすぎビフォーアフター～」

問題

安来の昔を知らない若者が多い！！自分たちが住みたいと思えるまちをつくるためには、今と昔の違いを学ぶ必要がある。

昔と今の安来を比較できるような企画を実施する。

◆実施日・場所

9月26日（木）安来市内（資料写真撮影）

9月28日（土）、29日（日）

十神交流センター（十神地区文化祭内）

◆参加校

安来市立第一中学校

◆参加人数

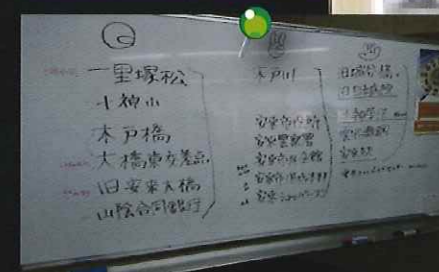
18名

◆活動内容

十神地区文化祭にて、安来市の街並みの今と昔を比べるクイズ形式の展示を行いました。

◆アンケート結果

- ・写真パネルに興味を持ってもらうために、みんなで進んでバルーンやお菓子を渡して集客に繋がってよかった。
- ・展示会を通していろいろな人と触れ合い、仲が深まった。
- ・十神地区の人たちの元気の良さが分かった。
- ・地域の方々との交流により地域への愛着を感じました。
- ・普段合わない色々な人と関わった。
- ・十神地区の昔から今への歴史がわかり、とても勉強になりました。
- ・あらためて地元のいろいろな場所を見ることができました。



今回のお話をいただいた時、安来青年会議所さんの想いが全身に伝わり、その想いにとっても共感できたので、自分としてもすぐに事業のサポートをしよう！と決めました。中学校にも何回か一緒に足を運び、たくさんのお話をしましたが、なかなか理解を得るのは簡単なことではなく、一緒に活動させていただき、自分自身とても学ぶことができました。今回は美術部のみなさんにご協力いただき、盛況に事業が終わりましたが、美術部のみなさんがとても嬉しそうに、そして自信を持って活動している姿がとても印象的でした。やっぱり子どもの力は素晴らしいです！そんな力が集まれば、きっと安来は変わります。来年も、またこの活動に微力ながらご一緒させていただけることを楽しみにしています！

十神交流センター 主事 山根久美子